

京都教区時報

京都教区広報委員会
 (編集長 村上透磨)
 京都教区本部事務局
 京都市中京区
 河原町通三条上る
 TEL 075-211-3025
 FAX 075-211-3041
 honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁～6頁 2019年 教区 小学生侍者合宿 感想文

7頁～8頁 2018年 京都司教区 決算報告

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
 ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
 TEL・FAX 079-431-8601

2019年 司教年頭書簡を読む④

キリストとの出会い

このテーマが、司教年頭書簡(教書)の中心軸と思われ、その意味をくみ取れるように願いたいと思います。

「出会い」という言葉を聞く時、浮かび上がるのは「キリストは、神と人との出会いの原秘跡」、教会は「神と人との出会いの秘跡」ということです。

先ず、「福音的もてなし」を語る時、それは単なる「歓迎」や「接待」「サーブス」「おもてなし(オリンピックの招致の引き金となった言葉)」ではないと思うのです。難民移民の受け入れは、「正義」や「人権」の問題でもあるからです。ですから、それは「出会い」と「客」、「与える者・受ける者」といった「上下関係」や「良いか悪いか」といった、与える側の愛の問題になってしまっは、いけないと思うのです。教書は「福音的もてなし」は相手に対する

愛を示し、キリストに対する愛を示し、さらに単なる博愛主義でもなく、全ての人の中、隣人、特に助けを必要とする、弱くて貧しい、小さな人に対する愛(マタイ25・31～45)だと言っています。だから、外国人



2019年 召命祈願ミサ(侍者合宿最終日)
 カトリック河原町教会(3月28日)

が私たちの家の扉をたたくとき門を閉じてはならない(黙示録3・20)、戸口は貧しい人と出会う場なのです(例マルコ1・33)。キリストは門前に横たわるラザロなのです。彼は門を叩く力も声も持たないのです(ルカ16・19〜31)。

更に言います。アブラハムと子孫にとって約束の地カナンでも「寄留者」にすぎない、その地は神のものだからです(レビ25・23)。

新約時代では、どこに暮らしても天の国の住民であり、聖なる民に属する者、神の家族として(エフェソ2・19)。

地上に永住することなく、旅人として生き(1ペトロ2・11)、いつも最終目的(神・キリストの家、天の住居に向けて巡礼するものである)と言っています。私たちは、皆「巡礼者」同行三人(私と神と全ての人)なのです。その巡礼が終わった時、私たちは主の祈りを唱えるのだと思います。それは御子自身の祈りです。聖霊によってそのアッパ父よのキリストの祈りに私たちが加わります。その私たちは、人間の域を超えて宇宙的広がりを持って、天におられる私たちの父よと唱えるのです(ロマ8章 コロサイ

1・13〜23 参照)

「キリストとの出会い」

ところで「キリストとの出会い」について語る時、是非説明しておきたいことがあります。それは「キリスト、神と人との出会いの秘跡」ということです。これはキリストの受肉の秘跡の優れた考察です(難民移住の問題とキリストの受肉の本質的は意義を考えねばなりません。聖家族のエジプト逃避難を、難民移民の体験者として親しみをこめて語られますが、それだけでは同じ体験といった表面的な考察に留まってしまうように思えます)。

公会議の根本的な精神は、現代社会への「対話」と教会の「アッジョルナメント(今日化)」ということでした。教会は現代社会から避難してしまつたと謙虚な反省に基づきます。この象徴的な姿は「世界にひざまずいて」「ゆるしをこわれた」というヨハネ二十三世の姿に、そしてエルサレム訪問をなさったとき、パウロ六世が大地に「平伏して接吻なされた」あの公会議の象徴的な動作に目を向けるべきです。この謙虚な精神が、自然

世界、異なる宗教文化との真の対話を生み出したということです。

その精神が公会議の諸文章の中に現れました。その中でも4つの憲章。教会憲章と現代憲章、更に、その福音のいわば回心の精神の源泉ともいふべき典礼憲章(祈り)と啓示憲章(みことば)を読み直し、考察、祈り、観想しなければなりません。

今年の課題で特に注目したいのは、教会憲章の第二章、一章、八章です。現代世界憲章では、特に序文、第一部(なお、緊急課題にも注目)。

この精神は、京都教区では教区ビジョン「社会と共に歩む教会」。日本の教会では第一回ナイス「社会に開かれた教会」そして、それは福音宣教する共同体(パウロ六世の「福音宣教」。レオ十三世レールム、ノヴァーム以降の教皇教説。教皇フランシスコの諸回勅、難民移住の日の解説などです)。

ちなみに必読すべきは、『移住者へのキリストの愛』(教皇庁移住・移動者司牧評議会 指針/議長 濱尾文郎枢機卿)(カトリック中央協議会)です。

(村上透磨)

侍者合宿

―「もてなし」侍者の「こころ」―

3月26日～28日、教区小学生侍者合宿が行われました。男子12名女子21名、計33名の5年生と6年生がヴィアトル宗研館に集い、「もてなし 侍者のこころ」をテーマに2泊3日をと共に過ごしました。

第一日目には、大塚司教様が来てくださり、子どもたちにお話をしてくださいましたあと、夕食と聖歌の練習やゲームにも参加してくださいました。

子どもたちは、この合宿で「祈り・学び・遊び」をおしてイエスさまと出会い、最終日は、「召命祈願ミサ」ですばらしい奉仕をしました。

奈良教会 6年 辰巳 亮太

ぼくは、この侍者合宿でいろいろなことを学びました。ぼくがこの三日間で一番よかったことは、司教ミサで「ミサレ」の役をすることができたことです。奈良教会で司教ミサがあるときは、「ろうそく」や「バクルス」のことが多いか

らです。司教様にいろいろな祝福などが書いてある本を見せるという重大な役をもらったのです。とくに、司教様に見せるということ、すぐきんちょうしました。お兄ちゃんは「こころ」、ぼくは「ミサレ」で、お兄ちゃんにも負けないくらい、重大な役をもらえてよかったです。

ほかにも、きのう、おとといと侍者の練習をしてさらに侍者のことを知ることができて、よかったです。侍者合宿で学んだことを持ち帰り、奈良教会でさらに良い奉仕ができるようになりたいです。

彦根教会 6年 ソルディア ケイト

私が三日間の侍者合宿でがんばったことは、三つあります。

一つ目は、ミサの道具を覚えることです。最初はぜんぜんわからなかったけれど、「カリス」と「プリフィカトリウム」を覚えられました。道具をもっと覚えるために、動画の本で調べて、ノートに書いていたり学びたいと思います。

二つ目は、大きなミサで「ろうそく」をもったことです。すぐきん張していましたが、やってみたらきん張がおさまりました。本番の時、することがわからない

2019年 侍者合宿スケジュール

	1日目 3月26日(火)	2日目 3月27日(水)	3日目 3月28日(木)
6:30		起床・布団上げ	起床・荷物まとめ
7:00		ミサ	朝の祈り
7:30			朝食
8:00		朝食	片付け・掃除
9:00		侍者練習②・朗読練習	宿舎出発
10:00			河原町教会で侍者練習
11:00		遠足準備	召命祈願ミサ
11:30		遠足(水族館)へ出発	修了証書授与
12:00			記念撮影
12:30		お弁当	感想文(30分)
13:00			昼食
13:30			
14:00			解散
14:30			
15:00		水族館出発	
16:00		宿舎到着 (司教様からの差し入れのジュース)	
17:00	集合・オリエンテーション・自己紹介 大塚司教様のお話	共同祈願作成	
18:00	夕食	夕食	
19:00		侍者練習③	
19:30	班活動(班長決定)・聖歌練習	晩の祈り	
20:00	侍者心得・侍者練習① 晩の祈り	お風呂(銭湯)	
21:30	就寝準備・寝る前の祈り	就寝準備・寝る前の祈り	
22:00	消灯	消灯	

スケジュール(感想文の参考に)

かったけど、お姉さんたちがいろいろと教えてくれました。あこがれて、私もお姉さんたちみたいに大人になったら、子どもたちに伝えたいと思います。

三つ目は、友達をつくることです。侍者合宿に行くとき、「友達つくれるかな」となやんでいたけど、みんなにしゃべりかけて友達になりました。前より友達がふえてうれしかったです。

三日間を終えて成長したと思いました。これからももっとがんばりたいと思いました。

北白川教会 6年 富沢 怜

「さあ、小学校時代最後の侍者合宿だ」と思って来ました。去年は6年生が支えてくれました。なので、次は僕が新5年生を支える番だと考えました。

まず、二日目の朝にミサを行って心をおだやかにしました。なぜ一日目を書かないかというと、一日目は夜だけでイベントがあまり無いからです。次に水族館に行きました。一番恐ろしかったのは海月です。海月はフヨフヨしていて足のよな物は毒があるからです。次に香炉をふりました。去年のはとても軽かったけど、今年は重かったです。その後、銭湯

に行って泡風呂に入りました。いいぐらいの温度の湯だったので、いい気持ちでした。そして晩の祈りをして寝ることにしました。

三日目に召命祈願のミサをしました。この日は侍者合宿最終日なので気合が入りました。僕は奉納の役をしました。とても緊張したけれど、ミサの途中で神父様が声が大きくて良いとほめてくれました。これからも侍者に気合を入れてがんばります。

今回、新しい友達ができました。もう、会えることが無いと思うけれどとても明るい子でした。僕も明るい子になりたいです。

河原町教会 5年 小杉 皐

私が一日目に楽しかったことは、歌の練習をしたことです。特に歌詞の意味を考えて歌を歌ったのが、きんちょうしていたのもわすれるほど楽しかったです。侍者の練習で、形ができていても、心で何も思っていなかったら、あまり良くないと教えてもらって、たしかにな、と思いました。

二日目、遠足に行って、白いナマコを見つけることができてうれしかったです。



侍者合宿

す。二日目の侍者練をして、カリスやピクシスなどそれぞれ名前があると分かりました。夜の侍者練で、香ろをふってみて意外とおもかったけど、持つところを下にしていくとふりやすくなるのが不思議だと思いました。そして香ろをする理由は、昔、神様を喜ばせるためにやっていたことから基づいていたと知って、どれもやる意味があるからやると分かりました。

三日目、ミサの役割発表があって、役割はもらわなかったけれど、おいのりをしたり、歌を歌ったりしようと思いました。

三日間習ったことをふり返ってみて、私は、侍者は神様のおもてなしを手伝うのだから、これからは、みんなに神様のおもてなしを伝えようと思いました。

田辺教会 5年 藤井 彩登

僕が心に残ったことは、一日目の一回目の侍者練習のことです。理由は、僕が一番侍者として大事だと思う、ミサの時のしせいや基本などを教わったし、一回目で印象がとても強かったからです。二つ目は、二日目の全ての侍者練習です。初めて入堂の練習や、ミサに使う道具の

名前などを知ったからです。最後は三日目のミサです。練習などをしたからかどうかは分からないけれども、歌が練習の時よりうまく歌えたと思いました。

おもしろかったことは、遠足で京都水ぞく館へ行ったことです。道をまちがえて出口へ行ってしまい、再入場したことと、イルカショーを見たことです。

楽しかったことは、4はん全員で共同祈願を考えたことです。考えたものは、リーダーに良いと言われてとてもうれしかったです。おわった後に、そとで「こおりおに」をしたことも楽しかったです。

二日目の侍者練習は、香舟や香炉の使い方を知ったのが一番心に残りました。水ぞく館では、水そうの中でイワシの大群が泳いでいたのを見たことです。

ミサで一番心に残ったことは、大塚司教様から修了証書もらったことです。侍者の練習はあつと言う間に終わったけれども、侍者合宿で習ったことを、教会にもどって生かしたいと思います。

久居教会 5年 浦谷 咲奈

一日目は、自己しょうかいをしました。わたしは人前で話すのが苦手だけど、自己しょうかいが少しまつってし



まったけど言えたので、ほっとしました。だからみんながわたしの名前を覚えてくれて、「さなちゃん」と声をかけてくれるようになりました。だから自分も友達の名前を覚えました。

二日目は、遠足で水族館に行きました。色々な生き物がたくさんいておもしろかったです。特にくらげがきれいでした。イルカショーも見に行きました。イルカのジャンプは高かったです。

三日目はミサの本番でした。わたしはそんなにきんちょうしななかったけど、入堂と退堂がちゃんとできるか不安だったけど自信を持ってやったら、上手くいきました。

わたしがこの合宿で心に残ったことは、侍者の道具の名前を覚えたことです。特に「こうろう」と「こぶね」などあまり自分が知らない道具を覚ええました。わたしはこの侍者合宿が、すごくあつという間にも感じました。友達とたくさん話したり、同じはんの子とご飯を食べたて楽しかったです。また来年もできたら合宿に来たいです。こんな楽しい合宿ができたのは神様のおかげで、安全にごすごすことができました。「ありがとう。イエス様！」。

河原町教会 リーダー(大学生) 速水 香奈

今回の合宿をとおして、あらためて侍者の気遣いがいかに重要なものか理解することができた。一人ひとりが周りの動きやその意味を把握することで、ミサをスムーズに進めていくことができ、神様をおもてなしすることができる、学ぶことができた。知らないこともたくさんあり、実りの多い合宿となった。

私の学年のあたりから、河原町教会は女子も侍者をするようになったが、引込み思案だった私は、片手で数えるほどしか、侍者をしてこなかった。そのため、今回、侍者合宿のリーダーとして参加することに不安がたくさんあり、実際に知らないことがたくさんあったことで、力不足を痛感した。今回の侍者合宿を通して学んだことを心にとめ、来年の侍者合宿にも参加して反省を活かすことができればと思う。



召命祈願ミサ奉仕



感想文

2018年度カトリック京都司教区 決算報告

平素より、京都司教区のために、ご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。
2018年度(2018年1月1日から12月31日まで)の、京都司教区の法人本部の会計の決算について主な点をご説明いたします。

※2018年度より報告の方法が少し変わりますので変更点をご説明いたします。

1. 2017年度までは「教区本部会計収支計算書」として報告させて頂いておりましたが2018年度よりは「教区本部決算報告書」として報告致します。
 - 1) 司教区は「宗教事業」「公益事業」「収益事業」の3つの事業を行っており、夫々の会計の関係性、整合性を示すために2018年度より「正味財産増減額」を報告致します。

変更点：

1. 表示区分について、収益項目は「経常収益」「特別勘定収益」「経常外収益」とし費用項目は「経常費用」「特別勘定支出」「経常外費用」として、3つの項目に区分しました。
2. 経常費用に減価償却費を計上しています。2018年度の減価償却費は68,060千円です。
3. 資産の売却については、売却金額と帳簿価格の差額を「売却益」または「売却損」として計上しています。

教区本部会計について

当年度の決算は収益計244,748千円、費用計は277,513千円で、当期正味財産増減額は32,765千円のマイナスとなりました。以下、収益・費用の主な点をご説明します。

1. 収入について
 - ①小教区からの納付金は(A)～(D)は年々減少しています。2017年度と比べても3,240千円の減少となっています。いろいろな事情があるかと思いますが、皆様の一層のご協力をお願い致します。
2. 費用について
 - ①神学生養成費は通常の負担の他、神学生1名(出水神学生)の経費を計上しております。
 - ②人件費は総額ではほぼ2017年度と同額ですが、福利厚生費が昨年対比216.3%。これは田中司教様の療養、医療費2,583千円、東門神父様の療養、医療費470千円計3,053千円の支出に依ります。

終わりに

2018年度は赤字決算となりました。教区財政安定のため、皆様の一層のご協力をお願い致します。

2019年6月1日
カトリック京都司教区
本部事務局長 北村善朗

京都司教区 2018年度 教区本部決算報告書

自2018年1月1日 至2018年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 費 用	273,196	I 経 常 収 益	223,209
1 福音宣教活動費	61,438	1 納付金収入	147,146
祭儀費	730	司教司牧納付金	2,195
教育養成費	2,324	司祭司牧納付金	8,610
神学生養成費	7,959	小教区納付金(A)	32,386
諸委員会活動費	3,728	小教区納付金(B)	75,112
教区事業活動費	40,714	小教区納付金(C)	15,512
諸活動団体補助金	626	小教区納付金(D)	1,321
アジア交流費	0	福音宣教協力金	2,893
済州交流費	2,175	建設分担金収入	9,117
国際交流費	392		
会議費	1,503		
図書費	42		
福音宣教企画室	1,245	2 福音宣教企画室	151
2 管理費	194,073		
人件費	104,278		
維持管理費	13,320		
事務管理費	8,415		
減価償却費	68,060		
3 寄付金支出	3,800	3 寄付金収入	12,516
		一般寄付金収入	12,516
		その他の寄付金	0
4 特定献金支出	9,238	4 特定献金収入	9,238
5 墓地勘定支出	4,647	5 墓地勘定収入	10,329
墓苑整備費	1,256	墓苑使用料	2,970
墓苑管理費	3,097	墓地祭儀収入	6,753
(神の園)管理祭儀費	294	(神の園)使用料収入等	606
		6 雑収入	6,708
		預金利息収入	5,012
		雑収入	1,696
		7 収益事業損益	37,121
II 特別勘定支出	937	II 特別勘定収入	14,763
一万匹の蟻	937	一粒会	12,153
		アジア基金	555
		済州基金	734
		一万匹の蟻	937
		国際協力基金	384
III 経常外費用	3,380	III 経常外収益	6,776
固定資産売却損	153	固定資産売却益	3,900
投資有価証券売却損	1,180	投資有価証券売却益	0
墓地積立金繰入	0	墓地積立金取崩益	2,876
固定資産除却損	0		
特別積立金繰入	0		
雑損失	2,047		
費用計	277,513	収益計	244,748
当期正味財産増減額	-32,765		
費用合計	244,748	収益合計	244,748

6月のお知らせ

教 区

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ㊦㊧

2019年聖書講座の講師のスケジュールが変更になっています。詳しくは京都教区のホームページ (www.kyoto.catholic.jp) か、聖書委員会にお問い合わせください。

聖書講座

旅する神の民 私たち 皆 寄留人
—共に住み、共に歩む—

日 時：13日㊦ 10:30

テーマ：共に生き、共に住み、共に歩む、
共観する、私たち寄留人

講 師：大塚 喜直司教

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

よく分かる聖書の学び

日 時：26日㊦ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

諸 団 体

望洋庵 / Tel.075(366)8337

青年のための聖書講座

日 時：6日㊦ / 20日㊦ 19:15~21:00

指 導：菅原 友明師・大塚 乾隆師

キリスト教講座①

日 時：11日㊦ / 25日㊦ 19:15~21:00

指 導：大塚 乾隆師

対 象：これから洗礼を希望する青年

キリスト教講座②

日 時：12日㊦ / 26日㊦ 19:15~21:00

指 導：大塚 乾隆師

対 象：青年

京都カトリック混声合唱団

練 習：9日㊦ 14:00 / 22日㊦ 18:00 ミサ奉仕後
30日㊦ 14:00 カトリック会館6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：13日㊦ 10:00 / 27日㊦ 10:00
カトリック会館6階

(どなたでも参加可)

聴覚障がい者の会

手話表現学習会(聖書と典礼)

日 時：6日㊦ 13:00~15:00

場 所：希望の家地域福祉センター

(京都市南区東九条東岩本町31-10)

問合せ：Tel・Fax.075(822)3548 岡本 有里子

京都キリシタン研究会

講演会

「潜伏キリシタンとカクレキリシタン
～長崎外海地方における歴史～」

(世界文化遺産に登録されて1周年 / 入場無料)

日 時：16日㊦ 13:30~15:00

場 所：河原町教会

講 師：嶋崎 賢児氏(キリシタン研究会)

問合せ：090(2381)4630 古澤 吉次

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星スカパー・ケーブル)スカイA

毎週土曜日 朝7:45

シリーズ「自分を深く知るために」

出演は Sr. 小野 恭世(イエズス孝女会)

ラジオ(KBS京都) ㊦~㊧ 朝5:55

㊨ 朝5:15

6月のテーマ「父のぬくもり」

※ 8月号の原稿締切り日は6月19日㊦です。

2018年 台風被害に対する濟州教区からの見舞金について

2018年は多くの自然災害に見舞われました。特に、教会、および施設におかれましては、9月の二度にわたる台風によって、甚大な被害を受けました。

この災害に対して、濟州教区の皆様方より、多額の見舞金(400万円)を頂きました。この見舞金を、教会及び施設の被害額から、カリス損害保険等で補てんされた額などを控除し、按分してくばらせて頂きました。

濟州教区の皆様方には、感謝の意を表するとともに、報告させていただきます。

2019年6月1日
カトリック京都司教区
本部事務局 北村善朗

大塚司教の

6月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日⊕「殉教者に学びともに祈る集い」
(横浜教区 松本教会)
- 2日⊕ 11:00 奈良ブロック 合同堅信式
(奈良教会)
- 3日⊕ 10:30 ヌヴェール愛徳修道会 ミサ
- 4日⊕ 13:30 教区カトリック学校 校長会
16:00 (社福)カトリック京都司教区
カリタス会 理事会
- 6日⊕ 10:00 中央協 常任司教委員会
- 7日⊕ 11:00 中央協 列聖推進委員会
- 8日⊕ 11:00 登美が丘カトリック幼稚園
父の日 講演
- 9日⊕ 14:00 京都南部地区 合同堅信式
(桂教会)

- 12日⊕ 14:00 大阪教会管区 結婚法務会議
- 13日⊕ 10:30 教区聖書講座(河原町教会)
17:30 カトリック学校委員会
- 14日⊕-15日⊕「殉教者に学びともに祈る集い」
(札幌教区 カトリックセンター)
- 16日⊕ 14:00 三重 合同堅信式(津教会)
- 17日⊕ 11:00 中央協議会 会議
- 18日⊕-20日⊕ 大阪管区司牧者研修会
(梅田サクラファミリア)
- 23日⊕ 10:00 福知山教会ミサ
- 24日⊕ 15:00 司教顧問会
- 25日⊕ 14:00 教区 幼稚園・保育施設 園長会
- 30日⊕ 10:30 河原町教会ミサ
(济州教区交流感謝ミサ
／济州教区司祭共同司式)
- 18:00 望洋庵

京都カトリック青年センター 運営委員紹介

<京都南部>

今年度も運営委員をさせていただきます。よろしくお祈りします。

私たち青年が、神さまの声に素直に耳を傾けながら社会でどのように生きていけばいいのか、青年センターで出会った青年たちとのつながりを通して考えていけるようにしたいと思います。お祈りよろしくお祈りします。

(河原町教会 奥埜のぞみ)

<三重>

三重担当の運営委員1年目の粟井幹です。京都教区の青年活動を今までよりも楽しく心地の良い場にします。よろしくお祈りします。

(西院教会 粟井 幹)

<滋賀>

滋賀運営委員の新田です。青年センター事務員を経て、運営委員へ再任しました。これからも、青年センターの活動を活発にし、京都教区の青年達と沢山繋がっていきたいと思います。よろしくお祈りします。

(唐崎教会 新田理紗子)

滋賀担当の松井と申します。今年度より運営委員会1年目です。

これから多く青年活動に関わっていきたいと思います。どうぞよろしくお祈り致します。

(唐崎教会 松井美奈)

他、京都北部の運営委員に小林まゆかさん(西舞鶴教会) 三重の運営委員に濱口聡子さん(伊勢教会)がいらっしゃいます。

